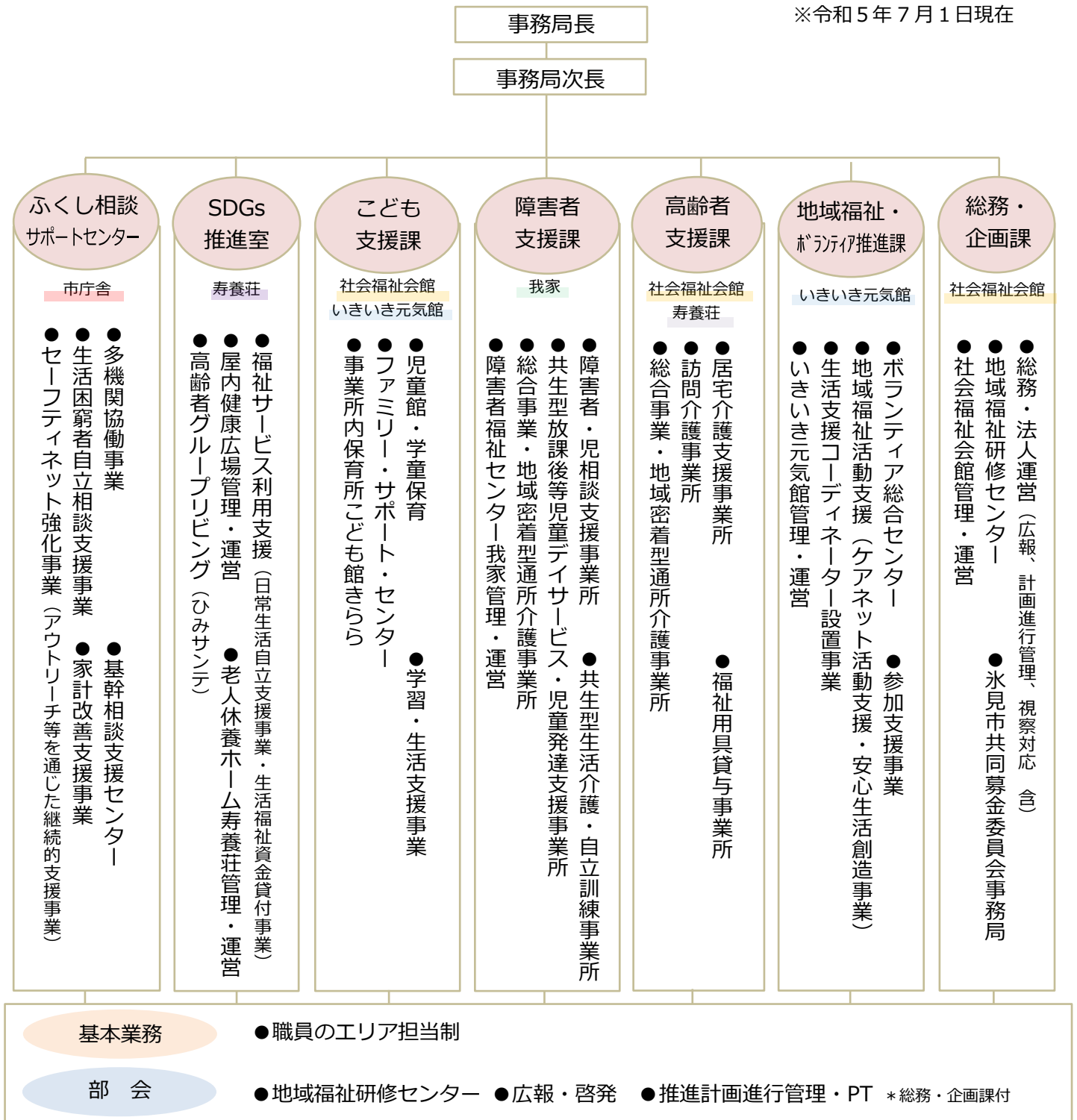


氷見市社会福祉協議会事務局体制図

※令和5年7月1日現在



正 規 職 員	18名
準 職 員	9名
嘱 託 職 員	6名
常 勤 パ ー ト	20名
非 常 勤 パ ー ト	32名
登 録 職 員	22名
合 計	107名

～氷見市社協における職員のエリア担当制について～

「誰もが住み慣れた場所で安心して生活できる地域」の実現の為に、職員をエリア毎（市内21の地区社会福祉協議会を4～6地区毎に1エリアとし、氷見・南條・上庄谷・瀬浦エリア）に組織化し、潜在している個別課題・地域課題の把握、地域の社会資源を把握し、住民主体の地域福祉活動の開拓支援、専門職が担うべき部分においてのサービス開発を行っています。

- **エリア担当の構成**
各部署からエリア担当者を配置し、エリアチームを編成。それぞれの専門性を活かして地域に関わります。
- **エリアチームとしての取り組み**
◆ 地域把握のための地区事業への訪問 ◆ 地区社会福祉協議会を単位とした研修開催支援 ◆ 地区社会福祉協議会が取り組む新たな地域福祉活動の開発支援 ◆ 専門職と地域のネットワーク構築支援等、地区社会福祉協議会事業やエリアチームの取り組みで得た地域情報を集約し、各地区の実状に応じて、主体的に地域福祉活動を実施できるよう支援しています。